

建設現場から人がいなくなる自動・自律施工は全く新しい領域であり、この施工方法を導入促進するための**最重要事項は施工における安全確保**である。

建設現場における安全に対する前提条件：建設現場の責任は第一に施工会社が負う

【自動・自律施工における安全対策】

現状では、建設現場の自動施工に関する決まりがないため、現場の安全対策は施工会社から労基署へ個別に届出・説明を行い、了承を得た上で実施。

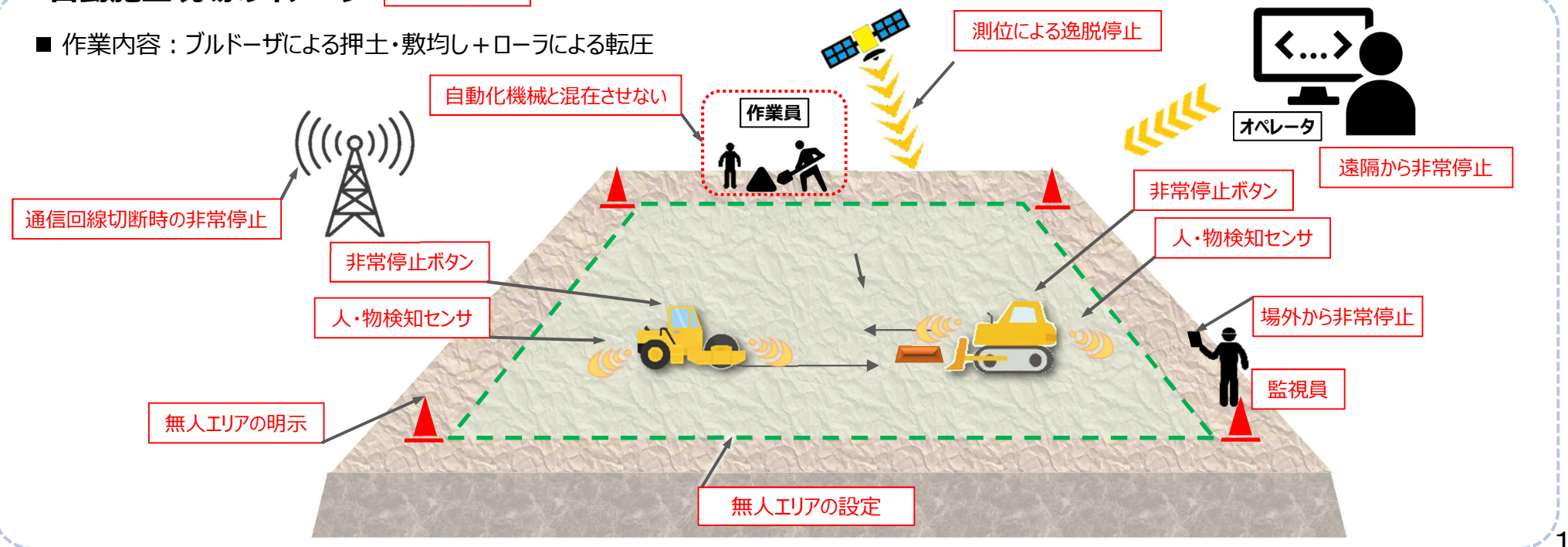
自動・自律施工における安全対策の事例を踏まえて安全ルールを標準化し設定することで、速やかに施工着手可能となり、開発目標も明らかになることで現場導入が促進される。

さらに、全く新しい領域で使われる機械に最低限具備すべき機能も明らかになる。

自動施工現場のイメージ

安全対策事例

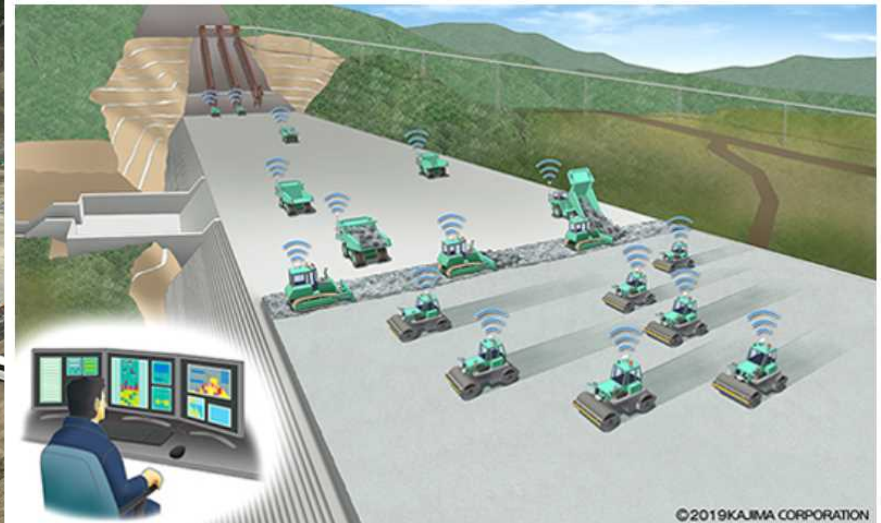
- 作業内容：ブルドーザによる押土・敷均し+ローラによる転圧



【当面の自動・自律施工の対象】

- ◆ 人を排除した「無人エリア」内での施工を想定
- ◆ 山間部などの一般人が立ち入れない施工現場から順次展開
- ◆ 最初は**単純な現場**を想定することから始め、将来的に**複雑な現場**へと移行していく

〈 現状の自動施工現場の例 〉



成瀬ダム提体打設工事 東北地方整備局発注 【施工：鹿島建設(株)】